

別記様式（第 3 条関係）

会 議 録（１）

会議の名称		令和 6 年度第 1 回桶川市文化財保護審議会
開催日時		令和 6 年 7 月 1 日（月） （開会）午前 9 時 3 0 分（閉会）午前 1 1 時 0 0 分
開催場所		桶川市川田谷公民館 視聴覚ホール
主宰者の氏名		桶川市教育委員会
議長の氏名		天沼律子
出席者氏名 （委員）		天沼律子、島村等、重田正夫、村田章人
欠席者氏名 （委員）		林宏一、板垣時夫、吉田元
説明員氏名		藤沼課長、山田主査、酒井主事、飯塚主事、林主事
事務局職員 職名及び氏名		教育部 島田部長、園田副部長 文化財課 藤沼課長、山田主査、酒井主事、飯塚主事 林主事
会 議 事 項	議 題	(1) 令和 6 年度文化財保護事業及び歴史民俗資料館事業の概要について
	決定事項等	
配布資料		・ 会議次第 ・ 桶川市文化財保護審議会委員名簿 ・ 会議資料 ・ 桶川市文化財マップ ・ 埼玉の文化財（第 6 4 号） ・ 文化財だより（第 1 4 7 号）

会議録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	内 容
事務局	１．開会 桶川市文化財保護審議会規則第６条第２項に基づき、委員７名中４名出席により会議が成立する旨の報告 ２．会長挨拶 ３．教育部長挨拶 ４．自己紹介
事務局	傍聴人なしの報告 ５．議事 （１）令和６年度文化財保護事業及び歴史民俗資料館事業の概要について 資料に基づき、事務局が説明を行う。
会 長	質疑に入らせていただきます。
委 員	指定古文書の所在確認調査ですが、調査は事務局で行うのでしょうか。調査の進め方について教えてください。多くの古文書は資料館に寄託されていますが、本来は地域の史料として現地で保存されるのがよいと思います。一方で代替わり等に伴い散逸する虞もあるため、市町村がお預かりするなど、所有者の方の意向を確認した上で検討するとよいと思います。
事務局	個人で保管されている古文書につきましては、近年はその状態を確認する調査を実施していませんでした。これまでは年に１回の交付金の手続きの中で、書類により確認をしてきましたが、長年その員数や状態を直接確認することがなかったため、今回この調査を実施するものです。また、所有者の変更も出てくるので、今後の保存のあり方についても所有者の方と協議ができたと思います。そして、調査の過程で職員では判断がつかないようなことがありましたら、改めて委員の皆さまにご指導をいただけたらと考えています。
委 員	この機会に写真撮影をして記録を残すことも考えてください。
事務局	今回の調査では、員数確認と写真撮影のほか、史料をお借り

	して燻蒸処理をしたいと考えています。また、保存管理の状態を見て、中性紙封筒に替えたりすることも考えていきます。なお、史料をお預かりできましたら、映像をデータに変換する機材を資料館に導入しましたので、今後活用をしていきたいと考えています。
会 長	お借りできない場合はどうするのですか。
事務局	現地でデジタル写真を撮影して記録を残します。
会 長	散逸や紛失がしやすい史料でもあるので、専門の先生にもご協力をいただきながら進めてください。
委 員	昨年実施した田鰯野Ⅰ遺跡の第１次調査では近世の遺構が検出されたと思いますが、今年度の第２次調査で想定される遺跡の時期を教えてください。また、同じく熊野神社前遺跡第１次調査で想定される遺跡の時期についても教えてください。
事務局	田鰯野Ⅰ遺跡は、包蔵地上は奈良・平安で登録されていますが、昨年の調査では近世の遺構が出たことから、おそらく今年度も近世の遺構の続きが検出されるものと考えています。熊野神社前遺跡は、昨年実施した試掘調査では約４，０００年前の加曾利ⅤⅣ式（縄文時代中期の終わり）から約３，５００年前の称名寺式期（縄文時代後期のはじめ）の住居跡が検出されていることから、当該期の遺構や包含層が検出されるものと想定しています。
委 員	若宮Ⅰ遺跡の調査報告書の刊行は、いつ頃の予定ですか。
事務局	報告書については調査後３年以内に刊行という目安がありますが、事業者が費用を負担していただいている受託事業を優先して進めています。市の単独費事業として、一昨年度に三ツ木遺跡を刊行し、今年度は坂田弁天池遺跡を刊行予定です。その次が若宮Ⅰ遺跡になりますが、昨年度に受託事業として殿山南遺跡第５次調査を行い、その報告書が来年度に刊行予定なので、若宮Ⅰ遺跡は３～４年後になってしまうと思います。若宮Ⅰ遺跡は内容が濃く注目されている遺跡であり、資料館の常設展示にも使用していることから、報告書の刊行が急がれていることも承知していますので、精一杯やっていきたいと思っています。
委 員	スケジュール管理をしていただいて、無理のない形で進めてください。
会 長	田鰯野Ⅰ遺跡の近世の遺構では、どのようなものが出土したのですか。

事務局	近世の溝状遺構が５～６条のほか、江戸時代以降の陶磁器、土坑、井戸跡が２基検出されています。今年度も同じようなものが検出されるのではないかと思います。
委員	井戸は素掘りの井戸ですか。
事務局	丸形の茶筒状の素掘りの井戸でした。
会長	史跡環境整備事業の高井遺跡住居跡は、以前は住居が復元されていたと思いますが、現在は草に覆われている状況です。今後どのような整備を考えていますか。
事務局	以前は竪穴式住居が復元されていましたが、現在は取り壊され、住居址の形が分かるように柱の穴の部分に設置された擬木が残っています。前面の道路沿いには高井遺跡の説明板が設置されているので、これまでに樹木の強剪定や伐採、草刈り等を行い、道路側から住居址が視認できるようにしてきました。今後新たな整備の予定はありませんが、引き続き同様の管理を行っていきます。
会長	引き続きよろしくお願いします。また、原山古墳群についても、みどりの会の方々に対して、審議会からの感謝をお伝えください。
委員	資料館の入館者数は、どのようにカウントをしていますか。
事務局	入館者数につきましては、入館者カードを記入してご提出をいただいています。
会長	市民まつりの会場で資料館のＰＲ等は行っていますか。
事務局	現状では市民まつりに合わせての資料館のＰＲ等は行っておりません。今回は市民まつりに合わせた展示を企画しましたが、今後はそのような場でもＰＲできればと思います。
会長	たくさんの方に足を運んでもらえるようなＰＲについて、考えていただけたらと思います。
	【議事終了】 ６．その他 ・市指定文化財「矢部家住宅」の修理状況について（担当委員補足説明） ・市指定文化財「旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場建物」修理完了届について

	・ 桶川市文化財マップについて 資料に基づき、事務局が説明を行う。
会 長	文化財マップの作成にかかる費用は、文化財課の予算から出るのでしょうか、それとも桶川市全体の予算から出るのでしょうか。
事務局	予算上は文化財課の文化財保存事業の中に計上しています。市の予算は、庁内の各部所ごとに自分たちが実施する事業の予算が計上されています。
会 長	費用はどのくらいかかりましたか。
事務局	昨年度に作成にかかった費用は、5,000部で50万円弱です。今年度の増刷にあたっては、下地ができていますので、そこまではかかりません。
委 員	矢部家住宅の修理について、庇を撤去することで、歩道部に降った雨が住宅の中に入ってきてしまうという課題があったと思いますが、どのように対応をされるのでしょうか。
委 員	現在は道路の方が25cm以上高くなっていることが分かりましたので、施主様と協議をして、建物の奥側にU字溝と浸透枳を設置し、オーバーフロー分を処理することで浸水を防ぐことになりました。
事務局	7. 閉会